

議会だより

No.

8

2008年
1月31日発行

やとみ

寒さなんて
吹き飛ばせ!!

1/3 空手げいこ〈木曾川河川敷〉

平成19年12月定例会

発行 ● 弥富市議会

編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335

☎ (0567) 65-1111 FAX (0567) 67-4011

年頭のごあいさつ



議会議長

宇佐 美 肇

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は市議会活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年は「弥富市」として合併3年目を迎え、これまでの助走から大きく飛躍する年であると考えております。

今、時代はまさに大きな転換期にあり、地方分権の推進をはじめ少子高齢化やグローバル化、情報化など、かつて経験したことのない新たな事態に日々直面し、地方行政の真価が問われる時代となりました。

このような中、本市は下水道事業をはじめ桜小中学校のマンモス化問題、防災対策の推進など、課題が山積しております。市議会は行政と力を合わせ、皆さまのご意見に耳を傾けながら「住んでよかった」と心から実感できる、魅力あるまちづくりに懸命に取り組んでいく所存であります。

この2月には、合併後初めての市議会議員選挙があり、3月からは議員18名の体制でスタートいたします。より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆さまのますますのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



▶ 1月7日から供用が開始された弥富中学校新校舎（鎌島地内）

主な内容

定例会の審議内容

議案質疑…………… 3

一般質問(16人)……… 4～19

やとみフラッシュ……… 20

表紙の説明

日本空手道晋武会による空手寒げいこが1月3日、木曽川川敷で行われ、男女約200人が参加しました。

好天に恵まれましたが、水温は別。組み手などの後、木曽川に入った参加者は、冷たさに耐えつつ気合を入れてけいこに励んでいました。



12月定例会

12月定例会を3日から21日までの会期で開きました。

市長から職員給与に関する条例の一部改正など23議案が、議員から意見書3件など4議案が提出され、原案通り可決しました。

一般質問には16人が登壇しました。

職員の給与に関する条例の一部改正

国家公務員に支給される地域手当との均衡を図る条例を改正するものです。

質疑

質疑(伊藤議員)

職員の給料は、県下の市の中で最下位だと言われる。生活給、労働対価、労働意欲を損なわないようにきちんとしてほしい。どう対応するのか。

答弁(市長)

ラスパイレース指数の目標を95にし、基本給の見直し

をしっかりとやっていく。

質疑(三宮議員)

(1) 当市の職員給与は、全国で1、820市町村のうち下から98番目、779市で下から8番目である。

職員にとっては大変な状態である。本当に改善する考えがあるかどうか。

(2) 保育現場では、臨時職員がかなり多く、正職員が基本的な業務を全部やらなければならず、仕事を自宅に持ち帰らざるを得ないような状態である。

無理な状態にならないよう必要な所に必要な人を配置することをどう考えるか。

答弁(市長)

(1) 職員の給与については、重要課題として取り組んでいく。

答弁(総務部長)

(2) 正規職員が担当すべき職務、嘱託職員・臨時職員で対応できる職務、そういうものもトータル的に含めて改善を図っていきたい。

討論

反対討論(杉浦議員)

市側は職員給料の改善をするという話だが、この条例改正の地域手当が8%から3%に引き下げになれば、実質的な給与の改善がわずかなもので、到底市の責任を果たしたとはいえない。よって今回の条例改正に反対する。

採決

賛成起立26人で原案可決

反対4人(三宮、原沢、安井、杉浦)

ラスパイレース指数

国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したもの。

国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険法の一部改正に伴い、条例を改正するものです。

質疑

質疑(三宮議員)

今後の改正にあたり資産割を減少するとか市民の生活状況に見合った工夫をしてもらいたい。

答弁(保険年金課長)

こういった形が有効的に税率も収納率も上げられて、安定的な医療が受けられるか、そういったものを含めて検討していきたい。

討論

賛成討論(三宮議員)

今日までの国民健康保険制度を市民に役立つようにとしてきた市の努力、少しでも市民の負担を軽くするための努力をしていこうという市長の姿勢に対し、賛成する。

採決

全員賛成で可決

意見書の提出

深刻な医師不足打開のための法制定を求める意見書

(総理、総務、文部科学、厚生労働大臣に提出)

看護職員確保法の改正を求める意見書

(総理、総務、文部科学、厚生労働大臣に提出)

地方税財源の拡充を求める意見書

(衆議院・参議院議長、総理、財務、総務大臣に提出)

理、財務、総務大臣に提出)

3月定例会の開催日程(予定)

3月7日(金)～26日(水)

までの会期予定です。

3月7日(金) 本会議(議案説明等)

26日(水) 本会議(委員長報告・討論・採決)

※一般質問・委員会等の日程は未定です。

※日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。

三 宮 十五郎 議員



学校給食の調理業務委託の
是正を

問

市が給食調理業務を業者委託するに当たり、法令や国の基準を満たしていると考えているか。

労働局等関係機関
と相談する

答 教育長

先進地を参考にしたり、労働局等関係機関と相談しながら、現状のやり方がどうかということを協議していきたい。

高齢者や障害者が安心して住めるまちに

問

(1) 高齢者の働く場所と条件を整えるために、実情を

どう把握し、どう改善していく考えか。

(2) 配食サービスが必要な人には、毎日提供できるようなにならないか。

(3) 障害者作業所に入っている人たちが、定員超過を理由にして出されることがないようにしてもらいたい。

(4) 重度の障害者は、海部地域内や名古屋市内の施設に通所している。保護者の負担は大変である。

その人たちに一定の支援をする必要があるのでは。

(5) 軽度障害者の雇用の場がない。市として本格的に考えてもらいたい。

(6) 障害者、高齢者、それから若年の不安定雇用の人へ、借り上げ公営住宅制度を利用できないか。

(7) 市の遺児手当を国の凍結に倣って、制度を元に戻

すべきではないか。
(8) 県がやめる福祉支援などについて、市独自の方法も検討してもらいたい。

福祉政策がさらに
充実するよう頑張る

答 民生部長

(1) 職が確かに少なくなってきたのは事実で、一生懸命仕事を探していることは知っている。

いろいろ考えているが、なかなか難しい現状で、いいアイデアがあったら提案してもらえればありがたい。
(2) 現在月曜日から土曜日のうち5回を限度に実施している。

当面は現在のサービスを継続していきたい。

(3) 市福祉授産所は今の19人を30人に、十四山福祉授産所は、案だが地域活動支援センターという方向で、定員はそのままと考えているが、相談しながら進めていく。

(4) 方針としてはまだ出ていないので、市として行くのか、このまま他でお願いして一定の支援をするのかということについては、今後の協議になる。

(5) 旧海部南部4カ町村の圏域での雇用関係機関や相談支援事業者、教育機関が参加をして自立支援協議会等を設置する予定である。

そのようなところを通じて支援を図っていきたい。

(6) 施設から地域への移行という大きな流れの中にある障害者施策、急速に進む高齢化等への対応の中で、研究していかなければならない課題という認識はしている。

(7) 県や周辺市町村の動向を注視し、検討していきたい。

答 市長

(8) 基本的な福祉政策の考え方としては、自助・共助・公助という精神が必要だろうと思うているが、市としての福祉政策がさらに充実するよう頑張っていく。

浅井 葉子 議員



狭い道路の解消と、危険な通学路へ緑のおばさんの配置を

問

次の狭隘道路（＝狭い道路）等について尋ねる。

- (1) 市道の路線数、狭い道路の距離数、把握の方法は。
- (2) 1月の市街地での火災で、鉄道付近の消防活動が困難だったことへの改善点は。
- (3) 狭隘道路の拡幅で、地権者に土地買収や門扉などの補償等の支援を手厚く行う自治体もある。同様に取組んでどうか。
- (4) 児童・生徒の安全を確保する上で、通学路の歩道設置が必要ではないか。
- (5) 平島地区の県道富島津島線は、桜小学校の通学路だが、歩道もなく交通量が多く危険である。

1つ1つ危険個所に、交通養護員（＝通称緑のおばさん）配置の予算措置を考えてはどうか。

答 開発部長

- (1) 1,880路線で総延長は約550km、そのうち3.5m未満の道路は約189kmで、全路線の幅員等を道路台帳で把握している。

答 防災安全課長

- (2) 地区からの申請により、消火栓を1カ所設置することになっている。

シルバー等、外部団体を
含めて検討していきたい

答 市長

- (3) 狭隘道路が約30%あるので、これからも計画的に進めていきたい。買収等は適正価格があるので、基準に基づき交渉したい。
- (4) 今後も児童・生徒に対する安全を考えながら進めていきたい。

- (5) 登下校の安全対策は地域住民に協力してもらっている。そういった中でシルバー人材センター等外部団体を含め、今後検討していきたい。



県道富島津島線(綱浦町地内)

常設の資源回収所の設置を

問

日進市には、シルバー人材センターに委託した職員常駐の資源回収施設「エコドーム」があるが、市にも常設の資源回収ステーションを設置してはどうか。

従来通りの収集を
基本としたい

答 環境課長

不法投棄の問題もある中で、民間方式による収集形態を基本とし、循環型社会を実現していきたい。

地震時に備えた職員の訓練は

問

地震時の迅速な初動体制の確立等は重要である。

職員対象の防災訓練を行っているのか。

20年は実際の行動
訓練を心掛けたい

答 市長

過去にも何度か訓練をしているが、ぜひ20年の事業計画の中に、实际行动としての訓練を心掛けていきたい。

安井光子 議員



後期高齢者医療制度と 福祉給付金制度の充実を

問

次の後期高齢者医療制度（75歳以上が対象の医療保険制度。20年度開始）等について尋ねる。

(1) ①国民健康保険から外れる人数は。②子ども等に被扶され、今まで保険料が不要だった人の人数は。

(2) 滞納時に発行される資格証明書（医療機関で一時、全額負担が必要）を、機械的に発行しないほしい。

(3) 恒常的な低所得者に手を差し伸べるべきではないか。

(4) 県は福祉給付金を見直し、20年度よりひとり暮らし高齢者を対象から除外する。市は存続すべきではないか。

答 保険年金課長

(1) ①約3,000人。

②社会保険の被扶養者は約780人で、新たに保険料がかかる高齢者には、経過措置で半年間は課さない。

(2) 滞納者には、細かな納付相談体制を執っていく。交付はやむを得ず行う方法の一つと考えている。

(3) 前年度所得が33万円の人は7割軽減。低所得水準者は、5割、2割といった減免制度が受けられる。

(4) 市は従来通り助成しているかと考えている。

また今までの償還払いを、医療機関での現物給付にする予定である。

従来通りひとり暮らし高齢者も助成したい

すべての保育所で延長保育実施を

問

保育所運営について、次の事項を尋ねる。

(1) 臨時保育士に、正規保育士並みの労働時間の社会保険加入者が14人いる。

正規保育士への採用や賃金引き上げ、待遇改善を求める。

(2) アトピー所児への除去食、食育など専門の栄養士を配置すべきではないか。

(3) 食の安全面から、全保育所調理室にクーラーを設置すべきではないか。

(4) 全保育所で延長保育を実施すべきではないか。

(5) 十四山保育所を除き、平日に行われる保育所行事は、土・日曜日に行うべきではないか。

別の時間単価）体系になるよう見直しを検討していきたい。

答 民生部長

(2) 20年度から栄養士一人を臨時職員で配置したい。

(3) 今後、予算の関係もあるのでそういったことに留意していきたい。

(4) ひので保育所が現在実施していないが、21年度から実施予定で考えている。

(5) 運営、安全、管理面を考慮し、保護者の意見を聞き検討していきたい。

問

十四山地区の公共施設の活用検討委員会が既に2回開かれているが、どのような検討を行ったのか。

答 総務部長

各施設を現地視察し、利用、管理、耐震状況等を踏まえ、施設を有効利用するためのいろいろな意見が出されている。

十四山保健センター存続は、委員会で意見が出ており、その協議を踏まえて考えていきたい。

ひので保育所は21年度から実施予定

答 総務部長

(1) 賃金は毎年度見直している。20年度も、勤務実態に合った（通常・延長勤務等

佐藤 高 清 議員



行政評価システムの導入とISO取得の考えはあるか

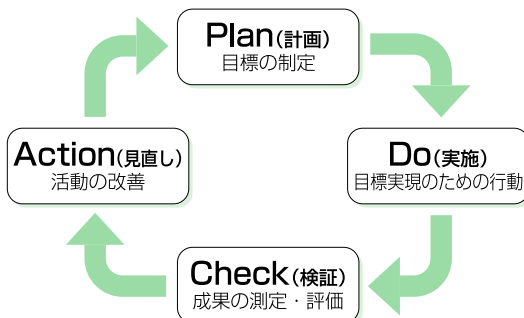
問

行政サービスに市民がどの程度満足しているのか、効率を上げるため見直すことはないか、これらにもっと真剣に取り組むべきではないか。

市民本位の効率的で質の高い行政運営を目指す上で、計画を実施しそれを評価して、改革改善に努める評価サイクルシステム(下図)を積極的に導入することこそ、行政サービスの向上につながるものと考ええる。

評価サイクルシステムの導入をクリアするツールにISO(国際標準化機構による規格)がある。

行政評価制度の導入にISO9001【注】を取得することは、全国の先進的な市町村で既に始まっており、実績を上げている。



市が行政評価システムを導入し、その仕様としてISO9001を取得する考えや可能性について聞く。

【注】ISOが定めた品質マネジメントシステムの国際規格。自治体の場合、行政サービスの品質保証や市民満足度向上のための仕組みが、認証取得により客観的に証明される。

行政評価は検討しながら導入したい

答 市長

大事な税を預かる者として、行財政改革を常に頭の中に置いて進め、費用対効果を高める努力をこれからも継続していく。

プラン(計画)、ドゥ(実施)、チェック(検証)、アクション(見直し)というサイクルを取り入れながら、事務の組織的な編成や組織運営の全般にわたり点検、見直しをすべきと認識している。

今後行政評価システムはさまざまな角度から検討しながら導入し、その結果を効果的、積極的に活用していきたい。

ニューパブリックマネジメントという概念も取り入れていく必要があると考えている。民間の経営手法を行政の中に取り

入れることも一生懸命勉強したい。

団塊世代の大量退職の中、民間委託、指定管理者制度の導入も調査・研究しながら考えなければならないと思う。

ISO9001の取得は現状として考えていない。認証時や更新時に大変な経費がかかるので、それよりも職員のレベルアップ、意識の高揚を先にもっとやらなければならないと思う。

ニュー・パブリック・マネジメント(New Public Management=NPM)とは

民間企業における経営理念や手法を公共部門に適用し、そのマネジメント能力を高め、効率化を図る考え方で、主に次の特徴で定義されている。

- ①顧客主義への転換(住民を公共サービスの顧客と見る)
- ②業績/成果による統制(数値目標の設定と行政評価)
- ③ヒエラルキーの簡素化(組織のフラット化等)
- ④市場メカニズムの活用(民営化、PFI等)

佐藤 良行 議員



木曽川左岸の治水対策等、 市民の安心・安全対策状況は

問

次の安心・安全対策について尋ねる。

- (1) 木曽川左岸の治水対策について①五明地先の高水敷の完成予定②第2期工事のスーパ―堤防の着工見通し③木曽岬町から実施されるスーパ―堤防の小島地先までの完成予定。
- (2) 市全体の一人当たりの緑化は何㎡か。
- (3) (仮称)境排水機場新設は、計画では着工すべき時期ではないか。
- (4) 鍋田排水機場は耐用年数を超えていると聞く。更新すべきではないか。
- (5) 太陽光発電および太陽熱温水器を、市公共施設に導入する考えはないか。
- (6) 市有車へのハイブリッド車導入をどう考えるか。
- (7) AEDの導入状況と将来の設置計画は。

来

- (8) 地域防災会の全地域の組織化を、今後2、3年で達成すべきではないか。
- (9) スクールガードの学校別の登録人数と、下校時間等の連絡方法は。

高潮堤の早期完成を 国に要望していく

答 開発部長

- (1) 五明地区は国の19年度補正予算にて約300mの護岸および環境整備が実施され、残り300m区間になった。

同地区は計画原案に整備予定地と位置付けられているが、予算計画のめどが立っていないと聞いている。高潮堤整備は厳しい財政状況の中、予算確保に努力する

と国から回答があった。

市も関係機関に陳情等を行っており、早期整備完了を国へ強く要望していく。

- (2) 国の整備水準目標は一人当たり20㎡で、市は27・99㎡(都市計画決定されている公園を参入。19年11月現在)で、鍋田、十四山地区を除くと4・33㎡である。

地域格差を解消すべく、都市計画マスタープランを策定後、緑のマスタープランを策定し、民有地の緑の保全や都市の緑化を総合的かつ体系的に推進していきたい。

答 市長

- (3) 漁業補償の問題等で非常に難航している状況である。県を通して交渉を継続していきたい。

- (4) 老朽化や耐用年数がたってきたことを、同時に並行的に考えていきたい。
- (5) 今後は公共事業の中で導入する機会があれば、積極的に考えていきたい。
- (6) 今後、新規購入で低公

害車や低燃費車を検討していきたい。20年度の買い替えはハイブリッド車を計画していきたい。

答 健康推進課長

- (7) 7公共施設と3中学校に、合計10基を設置している。

今後は公共施設を管理する関係課とも協議しながら進めていきたい。

答 防災安全課長

- (8) 12月10日現在26地区で、目標として25年に100%を目指す。職員が地区に出掛け、早めに立ち上がるよう説明等に行く。

答 教育課長

- (9) 弥生23、桜95、大藤35、栄南17、白鳥12、十四山東部22、十四山西部小11人である。

曜日で下校時間が決まっており、時間割表により知らせてある。

緊急時の対応(下校時間変更連絡)は取り組んでいない。先生の付き添いやメーリングによる保護者の迎え等で、安全を図っていききたい。

高橋和夫 議員



知って得になる情報を 広報に掲載してはどうか

問

市民が日常生活の中で、知らないために不利益を被ることが多々ある。

国民健康保険税は1年半の未納で健康保険証が利用できなくなる。しかし、分納により短期保険証の利用が可能である。

そついうことを各分野で調査、選出し、知らないと損をし知って得になる情報を、毎月広報で情報公開すべきではないか。

期限内納税の啓蒙にもつながるので、ぜひ役所内に情報公開チームをつくり、いろんな条件を精査しながら公表してほしい。

20年度にガイドブック
改定版作成を考えている

答 市長

市のいろいろな情報を分かりやすく1冊にまとめた「くらしのガイドブック」を、市内全世帯に配布している。20年度は各種制度も変わってきたので、改訂版の作成を考えている。

広報に対する（情報提供の）シリーズ化は、一度よく検討したい。

今後は情報通信網の整備が情報公開の最大の武器になる。ケーブルテレビを通じて市民にさまざまな情報を提供していきたい。

産業会館を再開発
してはどうか

問

現在の産業会館は市の中心市街地に位置し、商工会

はもちろん、各種団体活動に利用されている。
市の一等地を文化の薫り高い産業文化発展の発信地に活用すべく、再開発を提案する。

将来は本庁舎との
一体化を考えている

答 市長

産業会館は昭和51年12月竣工後、31年を経過している。
新しい（仮称）産業文化センターの建設は、現在の敷地が約4,500㎡で、駐車場等も考えられると少し手狭と思う。

そして今後の問題であるが、国道1号の拡幅工事予定もあり、（現在地に）将来的な建設は不可能かと思う。
本庁舎耐震性の問題は議員も承知の通りである。
一体化した形の中で、産業文化センター建設は本庁舎との兼ね合いで（今後の方向性を）運んではどうかと考えている。



▲産業会館（昭和51年竣工）

炭 竈 ふく代 議員



弥生保育所等、老朽化した 施設を改築すべきではないか

問

弥生保育所は18年度の（北部保育所との）統廃合により、建物や運動場が手狭で諸問題が山積している。同所をはじめ老朽化した耐震性の乏しい施設は、早期に改築すべきではないか。

用地確保等、おおむね 3年計画で進めたい

答 市長

現在、各保育所、小・中学校の耐震強化は22年までに終えたい計画で今後も進めていく。

弥生保育所は、昭和48年建設から34年経過し老朽化も進んでおり、改築は必要と考えている。場所（の選定）や用地確保を20年度に計画していきたい。

財政的な状況もあるが、お

おむね3年計画をもって進めていきたい。保育所機能のほかに、支援センターや児童館、児童クラブ等の多機能を持った施設を今後考えなければならぬと思う。



▶昭和48年建設の弥生保育所

弥生保育所以外の 建て替えの構想は

問

弥生保育所以外の保育所の建て替え構想はあるか。

白鳥保育所も計画的に進めたい

答 市長

弥生保育所建設以前の白鳥保育所も老朽化が進んでいるので、計画的に進めていきたい。

近鉄弥富駅にエレベーターの設置を

問

近鉄弥富駅のエレベーター設置について尋ねる。

12年のバリアフリー法施行により、公共交通機関でもバリアフリー化が進められている。同駅は一日約1万5,000人の乗降客

があり、障害者も多いときは約20人が利用すると聞く。16年3月議会にて近鉄に引き続き設置を働き掛けたとの答弁あったが、その後の交渉、進展状況を尋ねる。

大変厳しいが近鉄に 粘り強く交渉する

答 市長

近鉄本社に申し入れを行っているが、桑名等の特急停車駅を優先すると返事を聞いている。

現段階では大変厳しいが、これからも安心して駅を利用できるように粘り強く交渉していきたい。

なお、設置経費は4基で約2億円で、事業主体の近鉄が2分の1の1億円、市負担が約5,450万円、残りが国・県補助金で、国補は22年12月までが対象期間になっている。

非常に大きな経費がかかるということとは承知してほしいと思う。

大 原 功 議員



弥富中学校の移転跡地に (仮称)ひので小学校を

問

平島町は現在、約2、400世帯、人口約7、000人で、児童約570人が桜小学校で勉強している。弥富中学校の移転跡地に小学校をつくってもらえないか。

低所得(200万円以下)者を、市長として特別な税金免除はできないか。

さまざまな角度で
努力をしている

答 市長

障害者世帯の税の負担軽減は、地方税法、所得税法で所得控除による負担軽減措置が執られている。

また住民税は所得控除として、障害者を抱える納税義務者の税の負担を軽減するため、障害者控除や特別障害者控除が受けられる。

ダイヤモンド婚式
を行ってはどうか

問

障害者、家族、あるいは

障害者等に特別な
税金免除を

答 市長

アンケート調査を実施して、今12月定例会の最終日にその方向性が議員に報告できると思っている。

アンケート調査
を実施

金婚式が区切りで
あり考えていない

答 市長

金婚式は社会的にも一つの区切りであろうと考えていて、ダイヤモンド婚式については考えていない。

愛西市はダイヤモンド婚式があると聞く。金婚式と同席してお祝いしてもらえないか。

近鉄駅南口の整備
を

問

近鉄駅南口の道路は、狭くて車の出入りができない、道路整備を早くしてもらえないかという声があるがどうか。

今後も精いっぱい
努力していく

答 副市長

駅前近くの代替地等も考慮して、地権者といういろいろな調整をして、一日も早くこの事業がすべて完成するよう今後も精いっぱい努力をしていく。

公共施設の周りを
市街化に

問

現在の公共施設の周りには調整区域がある。

その周りを市街化にし、宅地開発により家が建ち、公共施設の利用者が増え、大きなメリットが上がるのではないか。

答 市長

現実問題として、市街化区域の中には低未利用地という、まだ開発されていない、農地のままで残っている所がたくさんある。

そういった中で、今市街化区域の住居区域を拡大するということは大変困難な状況である。

山 本 芳 照 議員



児童クラブも保育所並みに 午後7時までの延長を求める

問

11月26日の全員協議会で、児童クラブの時間延長について、20年4月から①平日は下校時—午後6時30分②学校長期休業日は午前8時—午後6時30分—と、開始と終了で各30分延長すると市より回答があった。従来より延長し一定の評価をするが、なぜ30分なのか。

答 市長

民生部長が答弁した通りである。しかし、保護者が安心して仕事ができる状況を、改善という方向で探っていきたい。

問

県では放課後や週末の小学校施設を活用した放課後子ども教室を支援している。現在県内では24市町で実施されているが、市はどのような考えか。

答 市長

県と市の方向性は全く同じであり、今後とも子育て支援、児童・生徒に対する環境整備は努力していきたい。

必要性は感じているが 今後の検討課題としたい

答 民生部長

さらなる延長の必要性は感じているが、すべて臨時職員で行っており、指導員の勤務条件、体制も考慮する必要がある、今後の検討課題としたい。

問

市保育所は、ひので保育

佐古木地区排水施設 修繕に一定の助成を

問

早期実施の地域の要望がある日光川下流7号幹線工事の期日が明確でない状況の中、佐古木地区の排水路の実態（排水機修繕への市補助）を9月議会で質問したが、市街化区域で農業と共存する排水路の取り扱い、なかなか難しい問題であるとの答弁だった。

しかし、365日、この用排水路に家庭、工場の汚水を流していることは事実である。市は排水路と認めているから、地区の要望に対し、用排水路のヘドロ除去に取り組んでもらっている、私は理解している。家庭排水を川に流す意味で365日使用する排水機の扉が老朽化し、修理が必要であるが、一定の援助をいただきたい。

現段階は非常に厳しい状況である

答 副市長

市街化区域での農地としての保管事業が難しいが、そういった中で共存している状況であるので、いろいろな面を今後も検討し、地元と行政が互いに連絡を取り合って対応しなければならぬと思うが、現段階は先回話した通りであり、非常に厳しい状況にある。今後、いろいろ協議して進めさせてもらいたい。



▶白鳥児童クラブ

栗田和昌 議員



都市計画でトレーニングセンターの土地利用を

問

(1) 市南部地域の港湾の現在と今後の動向を聞く。

(2) 私が住むトレーニングセンター西端に15haの空地があるが、都市計画策定において、この土地の利用を組み込んでどうか。

答 市長

(1) 名古屋港の果たす役割、港湾設備の充実はまだづくりを考える上で最重要課題の一つと思う。

港湾の埋め立て計画は、弥富ふ頭の貯木場に約10・2haが示されている。

上野町地内の県企業庁用地27haを取得したイケア弥富物流センターは、第1期工事として物流施設が20年8月完成、9月に操業開始の見込みである。

2期、3期工事も全国展開予定の店舗との関連に伴

◀工事の進むイケア弥富物流センター



い、着手すると聞いている。

同社の社員採用は約1000人予定で、企業進出の支援および市民の雇用確保から1月市広報で求人情報を發していききたい。

同社は中部・東海地区に

において店舗用地を探しており、できる限り情報を提供し、市として手伝いたい。

次に、名古屋港のコンテナ取扱量は増加傾向にあり、現行の2バース（＝船が着岸し、コンテナを積み降ろす施設）では限界に達しているの、関係機関に第3バース増設を要望している。現行バースのコンテナ取扱量は84万個に達しており、1億円強の特別とん譲与税の収入がある。

港湾背後地の土地利用は、市総合計画や都市計画マスタープランに織り込んで考えていきたい。

競馬組合の考え方を聞きたい

(2) 同センターにますます活躍してもらうことが大前提だと思うが、土地の有効活用は、管理者の県競馬組合から同センターに対する基本的な考えを聞かないと、どういう形で利用を進めて

いくかは協議しづらい。大前提となる組合の考え方を聞きたいと思う。

桜小学校のマンモス化解消を

問

桜小学校のマンモス化解消と今後の対策について、11月13日の説明会は約400人が出席し、平島地区住民は新しい学校建設を望む声が多かった。

私も早くつくってもらいたいと思うが、建設まで期間がかかる。その間、桜小はどういう状況になるのか。

早期の環境整備を前提に努力する

答 市長

桜小マンモス化問題は、早く子どもたちの環境整備をしていかなければならないという前提の中で、今後とも努力していく。



小坂井 実 議員

難しい税減免規則等の 分かりやすい資料の発行を

問

市民に福祉の内容の説明は行き届いているのか。市民が納める健康保険・介護保険・市民税等の減額・減免・免除の規則が大変難しい。高齢者、障害者など生活弱者に対する懇切丁寧な説明資料こそが、真の福祉ではないかと思うが、そんな冊子などを発行する考えはないか。

税の通知書について」というお知らせの中で、国保税の納付が困難な人へ納付相談を周知している。

20年度からは医療保険制度の変更があるため、3月頃に新制度周知のためのパンフレットを配布する予定である。

窓口の負担減免制度も10月から行っているが、市内の全医療機関に要綱を配布しており、医療機関窓口で相談があれば、保険年金課に連絡をもらい対応しているかと考えている。

非常に複雑な制度で 相談を周知している

答 保険年金課長

国民健康保険税の減免制度は非常に複雑な制度で、直接的な表現で減免制度を周知していない。

新たな国民健康保険加入者等に対し「国民健康保険

福祉授産所は民営化するのか

問

授産所の今後について、23年をめどに民営化にな

ると聞いているが間違いないか。

また18年4月に施行された障害者自立支援法に対する現在と民営化後の取り扱いについて尋ねる。

新体系の施設に移 行する

答 福祉課長

福祉授産所は遅くとも23年度からは（障害者自立支援法の新体系の施設に移行する。

市福祉授産所の定員は19人から30人に増やし、就労継続支援B型の施設に、十四山福祉授産所は定員を10人として地域活動支援センターというタイプの施設に体制が整い次第、移行したいと考えている。

安心できる福祉施設を

問

授産所は軽作業ができる18歳以上の知的障害者が入所しているが、送り迎えが必要で、家族の誰かが不規則なパート勤めしかできない。送迎バスの運行計画等がないかという声がある。通所者の親も年をとり、不安が増している。また授産所すら入れない重度障害の人もある。県営弥富寮のような利用の拡大を考えてもらえないか。

自助・共助・公助の形に 立って考えていきたい

答 市長

さまざまな福祉政策を行っているが、こういう問題はこれでいいということも私も思っていない。

現状からどういう形で改善をしていくかということについては今後も考えていきたい。福祉の基本である自助・共助・公助という形に立って、それぞれの問題について考えていきたい。

三 浦 義 美 議員



防災公園の総合計画への
位置付けや予算化は

問 次の防災対策について尋ねる。

- (1) 市は東南海・南海地震防災対策推進地域に指定されているが、国土交通省のシミュレーションによると、木曽川左岸、特に旧立田村付近で決壊すると、洪水時に3—4 m、地震で2・7 m浸水する。

5 m水が入っても大丈夫な避難所は、市内に何力所あるか。

- (2) 防災公園は、策定中の総合計画で位置付けるのか、予算化をするのか。

- (3) 10月のタウンミーティングで、市長は各学区への防災公園整備を提案した。防災公園の規模、また水害の場合、どのくらいの人々がそこに入るのかを尋ねる。

平島中区画整理地内に
21年度に着手したい

答
市長

- (1) 海抜ゼロメートル地域
- (2) 防災公園の要件として
- ① 公共用地の利用計画が考

えられないか②道路等交通
アクセス③人口密度—を考
え決定しなければならない。

現在、施工中の平島中区画整理事業区域内の約1:

4 haの公園予定地に、地域とも相談し、防災機能も兼ね備えた多目的な公園を、21年度に着手していきたい。今後はコミュニティ単位の6地区に、早く整備をしていきたい。

防災安全課長

安心して通れる歩
道帯の設置を

問 狭い道路に人が安心して
通れる歩道帯の設置をすべ
きではないか。

(3) 広域的な防災公園等は約1haが基準と思う。

市の避難所は鉄筋コンクリート造等の2階建て以上と決めている。

一時避難は1m当たり一人の計算になるが、長引けば2、3mが必要になる。

市民の負託にこたえる
道路計画を策定したい

答
市長

今後は市民の負託、地域の安心・安全に答えられるよう道路計画を策定していきたい。

問 次の道路の進捗状況を尋ねる。



直進が計画されている弥富名古屋線
(海部土地改良区会館前)

(1) 弥富名古屋線
 (2) 白鳥線

答
 開発部長

(1) 海部土地改良区会館から県道子宝愛西線までの400m区間は、用地を90%取得している。

交差点改良等を公安委員会やＪＲ等と協議し進めており、早期完成に向け、県へ働き掛けたい。

(2) 接続する弥富名古屋線の楽平地内を土地改良とともに整備する計画であるが、まだめどが立っていない状況なので、白鳥線は長いスパンで見てもほしい。

伊藤 正 信 議員



市街化区域の雑排水対策と 公共下水道の早期完備を

問

市街化区域の雑排水対策と、下水道の早期完備が望まれるが、今後の推進状況を尋ねる。

公共下水を全力で
整備するよう努力

答 開発部長

排水路に生活雑排水が貯留し、悪臭が一部地域で発生する現状で、ヘドロしゅんせつ等に対応している。

公共下水道も、全力投球で整備するよう努力する。

問

農業排水路の柵板（Ⅱ水路の側壁）が2枚の所は、大雨が降ると除堤（Ⅱ水路敷両脇の小型の堤防）が切れやすいが、その対策は。また水路の床張りは（コ

ンクリート張りで環境への配慮が少ない点でこのような方向で今後進むのか。

答 農政課長

柵板は、従来の2枚から3枚に切り替える対応をし、床張りは、被害防除（水害時に水はけを良くする）のための手法として行っている。

曲を更新しないカラ
オケ管理の考え方は

問

3年導入時と現在で、同じ（曲の）カラオケがある。施設の備品に対する考え方を尋ねる。

CD等は早い時期
に購入していきたい

答 社会教育課長

社会教育施設のカラオケ機械は台帳管理している。CD等の購入は19年度予算状況を見て早い時期に購入していきたい。機械は今後、整備を考えている。



カラオケを楽しむ市民（総合福祉センター）

問

用排水の問題で、30数年間（農業用排水機場ポンプの）モーターが放置されている。管理について尋ねる。

答 農政課長

管理は各土地改良区が行い、ポンプ等の耐用年数は20年と聞いている。メンテナンスにより延命

を図る努力がされており、耐用年数が過ぎることもあるが、こういったものは逐次、整備を図っていききたい。

問

側溝の清掃管理について、過日のタウンミーティングの回答は、危険箇所は市がやり、それ以外は自治会でできる所をやってほしいという話だった。

住民から清掃補助の要望があるがどうか。

答 市長

一度よく検討しながら、次の段階で新しい方向が探れるかを考えていきたい。

問

毎年区長等が行う道路拡幅等の申請について（過去に申請済みの重複申請をせずとも済むよう）考え方を示すべきではないか。

答 開発部長

申請個所の計画等を明確にし、年度内にできるものは施工し、できないものは意思表示して、重複しないよう次年度に生かす方法でやりたい。

渡 邊 昶 議員



廃止された三重交通路線 バス停留所の復活を

問

十四山地区の東端に三重交通の亀ヶ地、善太橋バス停がある。

しかし、廃止により市民は30分歩いて蟹江町のバス停を利用している。復活できないか。

巡回福祉バスを利用してほしい

答 市長

17年2月、三重交通から路線バス廃止の文書が提出され、十四山村が苦渋の選択の上、同年4月より路線バスに対する補助金廃止を決定した。解決済みの問題と言わざるを得ない。

両地区には現在、巡回福祉バスの停留所を設けており、そちらを利用してほしい。

名古屋十四山線の早期完成に努力を

問

まちづくりの一番基本になる道路の将来構想やビジョンを尋ねる。

また合併した両町村の一体化のため、名古屋十四山線国道155号南伸の早期完成に努力すべきではないか。

国・県に強く働き掛けたい

答 市長

既存の主要幹線道路を南北に結ぶ国道155号（＝名古屋第3環状線）や、市道中央幹線が整備されていない現状で、早く整備をして

いかなければならない。

十四山地区との均衡ある発展という中で、名古屋十四山線も急いで整備していきたい。

今後の道路政策、整備は総合計画、都市計画マスタープランの策定に反映し、国・県に強く働き掛け、市を発展させたい。

航空宇宙産業の企業誘致の研究を

問

この地域で最も有望な産



拡張工事が進む川崎重工業名古屋第1工場

関係機関とよく協議したい

答 市長

現在、川崎重工業（楠地内）ではボーイング787の機体の一部が生産されており、工場の拡張計画が進められている。

また楠地内の貯木場埋め立て地への進出企業のうち、2社は1万㎡規模の航空機組み立て関連企業である。

地理的優位性を生かし、航空宇宙産業等を誘致するため、インフラ整備等、さまざまな関係機関とよく協議をし、都市計画プランとして考えたい。

業は、航空宇宙産業と炭素化学繊維産業であると思う。企業誘致には道路等インフラ整備の促進が重要で、そのためには国・県の上位計画と市の考えの整合性が必要である。

研究機関をつくり、今から検討しているってはどうか。



杉 浦 敏 議員

消防の広域化に対する市の考え方は

問

消防の広域化について、県案では海部地域の5消防組合が一つになるが、次の点について尋ねる。

- (1) 迅速な消防活動ができるのか等、問題を検証すべきと思うが、市はどのような考えでやっていくのか。
- (2) 広域化の必要がないと考えれば、そこから抜けることはできるのか。

行政コストの削減が求められると考える

答 市長

(1) 今後5カ年で整備をして、協議する段階である。経費負担等の基本的な問題がまだされていない。これからの課題という中で広域化を進めていく。

基本的には行政コストの削減、事務効率の改善ということが当然求められると考えている。

答 防災安全課長

- (2) 広域化でなくても、ペナルティーはないと思っている。

航空機騒音はチェック体制が必要ではないか

問

航空機騒音改善を、共産党議員団等が10月に中部国際空港へ申し入れた。

6月と9月、好天で視界が良好にもかかわらず、午後11時以降に市上空を航空機が通過〔注〕した。

飛行経路変更の乱用がないかをチェックする体制が必要ではないか。

要望にきちんと回答を取る必要があるのではないかと。
〔注〕通常は夜間運用で伊勢湾に迂回する。

今後も騒音対策を要望していきたい

答 市長

8月に国・県・中部国際空港へ直接出向き①海上旋回による飛行時間帯の拡大②電波障害対策に取り組むこと―の内容で要望書を出した。

また運行経路の問題は各航空会社に対しても徹底を依頼し、CATV事業に対する補助金も要望した。

近々向こうの回答書を確認していきたいと思う。

今後も市民の生活環境の保全を図るため、航空騒音対策を要望していきたい。

ごみ焼却場の溶融スラグ処分費は

問

20年度、八穂クリーンセンターでできる溶融スラグ（焼却灰を高温溶融してできる固化物）は、市分として1,242tが返されるが、次の事項を尋ねる。

- (1) 各市町村の分担方法、処分費、搬出先。

1t当たり平均
3万3,000円

答 環境課長

- (1) 20年度、海部地区環境事務組合全体の見込み量は1万1,971tである。

同組合処理分を除く8,171tが、ごみ搬入量にに応じて各市町村に返還される。

- (2) 同組合処理分は知多市の公社等で処理し、t当たり約1万3,000円である。残りは各市町村が各自の最終処分場で引き取るか、同組合に別途処理費（1t当たり平均3万3,000円。搬出先は大府市等）を支払って処理を委ねることになる。

原 沢 久 志 議員



全国学力テスト実施は 一層議論すべきではないか

問

全国学力・学習状況調査（Ⅱ全国学力テスト）について、次の事項を尋ねる。
(1) 結果は非公開と聞いたが、情報公開等を出された場合の対応は。
(2) 来年も行われる予定のテストの有害さについて、一層議論を深めることが求められているが、教育委員会としてどのように議論するのか。

答

教育部次長

(1) 数字としては一切公表しない。
(2) 子どもが（身に）付けるべき学力を（考慮し）、委員会としては執行していくべき

子どもが身に付ける 学力を考慮し執行

きである。

調査結果を十分吟味し、児童・生徒一人一人のつまりずきの分析から始め、各学校の教育指導全体が適切であったかを見直し、改善に生かしてほしいと思う。

第2桜小建設の場合 補助金はいくらか

問

桜小学校のマンモス化解消について、次の事項を尋ねる。
(1) 保護者アンケート調査の概要と、未就学児の保護者や関係者等に対象を拡大する考えはないか。

(2) 通学区の境界地域は弾力的な運用に努めると、合併時につたわれている。具体的に今後どう検討し、

どういつ立場で進もうとしているのか。

(3) 第2桜小を建設した場合、建設費は約33億円の見込みと説明されている。

（学校建設は）3年間かかる可能性がある聞いた。

3年以内に解消しないと、特別教室を普通教室化しなければならぬ。今からヒアリングを同時進行すべきではないか。

またどの程度、国補助金が出るか、と見ているのか。

答

教育部次長

(1) 12月5日に児童を通じて、桜、十四山西部小学校区の保護者に依頼した。
対象者の拡大は考えていない。

(2) 区域を超えて（学区を）選択制にした場合、児童・生徒数を均等にすることが困難となるので、現在のところは考えていない。

建設費の20%と試算している

答

市長

(3) 本場にスピードを持って、かつ慎重に事を進めている。

しかし現在、県と直接的な交渉はしていない。

補助金は事業費に対する20%という試算を持っている。



▶マンモス化が懸念される桜小学校

みんなおめでとう!

成人式が1月13日、総合社会教育センター公民館ホールで行われ、468人が新たな門出を祝いました。

式典後、新成人代表で組織する実行委員会が企画した、中学時代の恩師が登場するビデオレターが上映され、温かい激励とメッセージが新成人に送られていました。



母校よ、さよなら

弥富中学校の移転に伴う「さよなら見学会」が1月12日から3日間、平島町地内の旧校舎で行われました。

解体工事前に校内に入れる最後の機会とあって、約800人の卒業生らが見学。卒業生らは、感慨深げに思い出を語り合っていました。

※同校は1月7日より、新校舎【鎌島7丁目52番地2 ☎67-0319】に移転しました。



ことしも上々

種類の豊富さと売上高日本一を誇る弥富金魚の初市が1月16日、市内卸売市場で行われました。

卸売業者は、流れて来る金魚を瞬時に品定め。市場独特の符牒を用いた掛け声で値を付けながら、金魚を次々に競り落としていました。

